

予習課題

[Saipem v. Bangladesh](#), ICSID Case No. ARB/05/7, Award, 30 June 2009 の para. 120 以下を読み、収用に関する紛争両当事者それぞれの主張と仲裁廷の判断とを整理しておく。講義では、「収用」成立の有無がどのように判断されるのかについて議論する。

書面の提出は不要。

適用条約

- バングラデシュ・イタリア BIT（上記リンク先）
- ICSID 条約

日本語評釈

- 鈴木五十三「投資協定仲裁判断例研究(11)」[JCA ジャーナル](#) 57 巻 7 号（2010 年）18 頁。

日本語参考文献

- 森川俊孝「収用・国有化」日本国際経済法学会（編）『国際経済法講座 第 1 巻』（三省堂、2012 年）
- 松本加代「収用」小寺彰（編著）『国際投資協定』（三省堂、2010 年）